

「イノベーション探究Ⅰ」～地域再発見プログラム～ 第3回

1. 実施日

令和4年4月28日（木）6限

2. 場所

HR 教室（331 教室・332 教室）

3. 対象

グローバル科1年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 6組 ミューリニコラス 矢野 和久
7組 戸田 雄一郎 佐々木 啓成

5. 内容

(1) クリエイティブ力と分析力を高める

「信号機にもう1つライトを増やすなら、どのような目的に利用するのか？」について考えることでクリエイティブ力を高める。また、「もう1つライトを増やすことで、どのような利点や課題が生じるのか？」について考えることで分析力を高める。

(2) 提案力を高める

「あなたならどんな信号機を提案しますか？」というテーマについて、グループで議論し新しい信号機を提案する。

(3) グループ発表

新しい信号のイラストを提示しながら、全体発表を行う。

※ 生徒は手帳に必要なメモをとる。グループ内で司会、書記、発表の役割を決める。

6. 学び

(1) クリエイティブ力と分析力を高める。

(2) 提案力を高める。

(3) 聞き手に伝わるように工夫した発表ができる。

7. 次回への課題

活動前にクリエイティブ力で生み出したアイデアを紹介した。例えば、男性用の便器にシールを貼ることで便器周りが汚れにくくなるというようなアイデアを紹介したが、生徒が驚くような身の回りにあるアイデアをもっとたくさん紹介できたらよかった。

8. 授業の振り返り

「信号機にもう1つライトを増やすなら、どのような目的に利用するのか？」では、ライトではなくプロジェクターにして、例えば山の風景を移してはどうかなど、かなりユニークなアイデアが出た。また、「あなたならどんな信号機を提案しますか？」では、従来の信号機の形ではなく、地面に埋め込まれた信号機を提案するなど、当たり前にとらわれないクリエイティブな発想で議論していた。前回のテーマである「問いを立てる」と今回の授業とのつながりのある授業展開は、生徒たちの多角的な思考を促せたと思う。